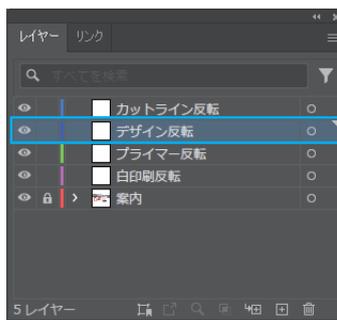


①デザインの配置

50×50 mm



まずはテンプレートを開き、デザインを配置します。

データを貼り付ける際は、「**デザイン反転レイヤー**」に配置してください。

1つのテンプレートには1つのデザインのみ配置が可能です。

※最小サイズは12×12mmとなります。細い線や小さな文字は5px以上の太さになるよう作成してください。

※鍵のついたレイヤーは編集しないでください。

※フォントやパスデータはアウトラインをかけてください。

デザインの配置 - 注意点



DIC・PANTONE など

CMYK4色以外はご利用いただけません。

CMYK4色で制作いただくか、特色が使用されている場合は分解してください。

※RGBデータの場合は色味が変わる可能性がありますのでご了承ください。



ドロップシャドウ など

テキスト・使用効果・ブラシはアピランスの分割、またはラスターライズを行ってください。(ライブペイント等を含む)

上記が未処理なため仕上がりに不具合があった場合は、初期不良の保証対象外となります。



パターンスウォッチ

パターンスウォッチを使用した場合は必ずラスターライズしてください。

弊社でデータを開いた際、柄の位置が変わる恐れがあります。



350dpi以外

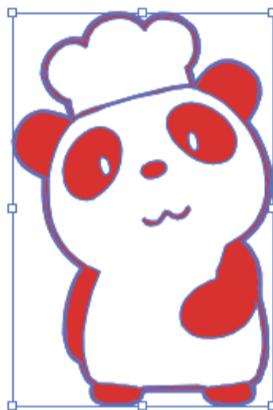
解像度は350dpiで作成してください。

画像は埋め込みしてください。

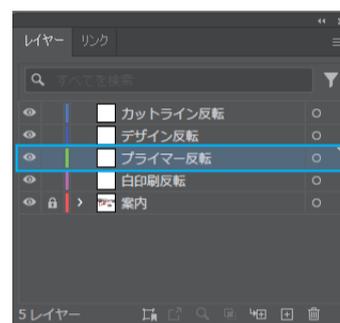
画像背景は、白色の場合でも透過してください。

② プライマー作成

プライマーとは、で印刷する色インクを定着させるための処理です。
 プライマーのデータがない場合、仕上がりに不具合が生じる可能性があり、
 初期不良の保証対象外となります。



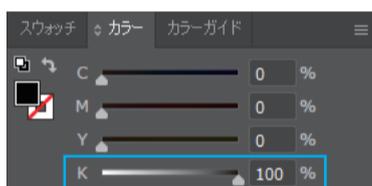
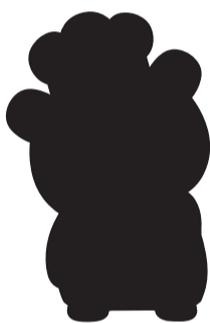
パスで作られたオブジェクト



「**プライマー反転レイヤー**」で作業します。

輪郭をペンツールでなぞります。隙間がある部分には注意が必要です。

パスで作られたオブジェクトであれば、そのまま「**プライマー反転レイヤー**」に複製します。



線の色はなしにします

作成したパスデータを**K100%の塗りのみ**にします。デザインと同じ位置に配置してください。

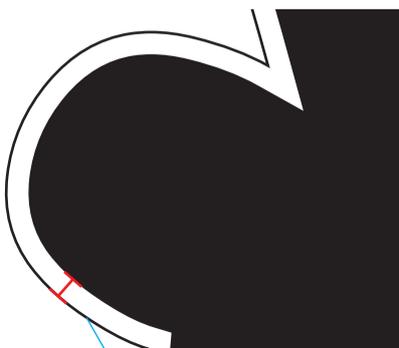
プライマー作成 - 注意点



グラデーション など

K100%の塗り以外はご利用いただけません。

クオリティUPのテクニック



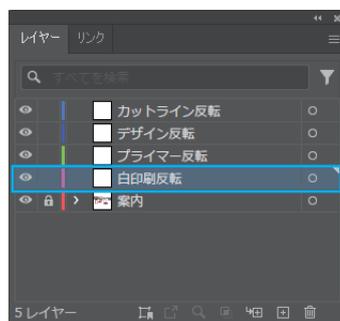
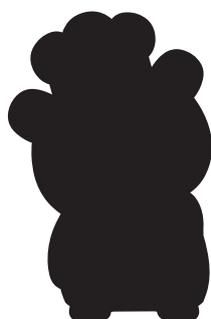
デザインから0.1mm小さく

印刷時のわずかなズレにより、プライマーがはみ出る場合があります。

プライマーを0.1mm小さくすると、はみ出しを防ぐことができます。

③白印刷作成

白印刷は、色インクを鮮やかに発色させるための下地のような役割を担っています。
白印刷がないと透け感のある仕上がりとなります。



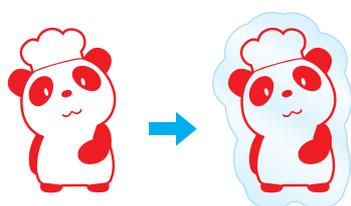
白印刷なし

白印刷あり

②で作成したプライマーのデータを「**白印刷反転レイヤー**」に複製します。

データはK100%の塗りのみそのままにします。

白印刷作成 - 注意点

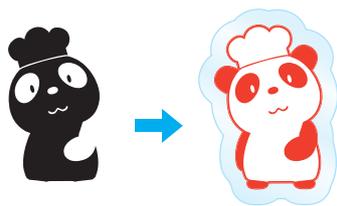


データ上で白色を配置した場合の出来上がり

通常の印刷では、データ上で白色を配置しても印刷されず透明になります。

デザイン上で白色を表現したい箇所は塗つぶしてください。

クオリティUPのテクニック



白色のみ塗りつぶした例

部分的に白印刷を無くして透けた仕上がりにする事ができます。

※デザインに薄い色が使用されている場合、白押さえがないとほぼ色が見えなくなってしまう可能性があります。

あ あ

白印刷あり

白印刷なし

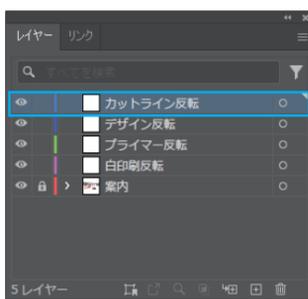
細いデザインに白印刷をつけると、はみ出しが目立ってしまう可能性があります。

デザインの色が濃い場合（黒色など）、白押さえをつけなくても色がキレイに仕上がります。

④カットライン作成



デザインから2mm以上離す



「**カットライン反転レイヤー**」で作業します。

カットラインを作成する際は、印刷の剥がれを防止するためデザインから2mm以上離してください。ペンツールなどで作成し、カットラインのデータをK100%の線のみにします。線幅は1pxにします。

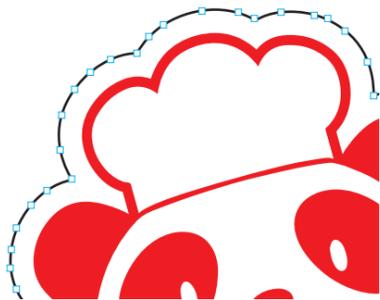
50×50mm



テンプレートの赤枠内にカットライン、アタッチメント用穴（キーホルダー）、差込ツメ（アスタ）も全て納めてください。

※デザインを傾けて配置することも可能です。

カットライン作成 - 注意点



アンカーポイントが多いと側面がでこぼこした仕上がりになります。

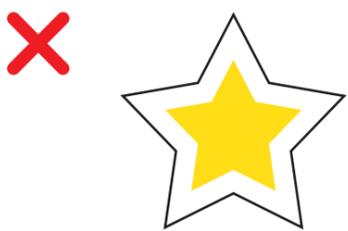


パスがとぎれていたりねじれていたりするデータは制作ができないため、再入稿となります。
パスに効果を使用している場合はアピランスを分割してください。

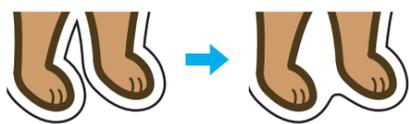


デザインから2mm以上離す

グラデーションがあるデザインの場合、グラデーションの終点からも2mm以上離してください。



カットラインは滑らかになるように角を丸くしてください
角立っている部分は割れやすくなります。
鋭角の切り口が肌に当たると危険です。



間が狭い場合はパスを修正してください

パスとパスの間が狭すぎると、機械でカットする際にキレイにカットできない恐れがあります。

幅が10mmに満たない細い部分や内外に向かって鋭利な角がある場合、破損が発生する可能性があります。

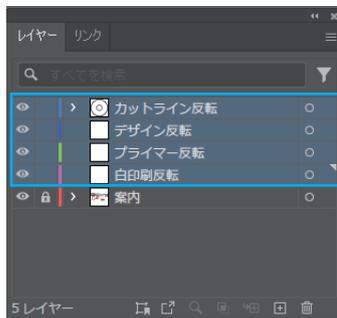


抜き加工を行いたい場合はご相談ください。

※別途料金をいただくもございます。

⑤ データ反転

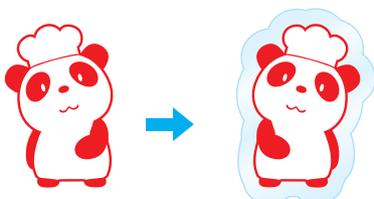
50×50 mm



「反転レイヤー」のデータをすべて反転します。

※データがずれないようにご注意ください。反転後、データに不具合がないかご確認ください。

データ反転 - 注意点



データを反転しなかった場合の出来上がり

上記が未処理な場合、デザインが反転された仕上がりになり、初期不良の保証対象外となります。

⑥ データ確認

最後に、各レイヤーに正しいデータが入っているかご確認ください。

テンプレートに記載されている注意書きもお読みください。

データに不備、間違いがないかご確認ください。